

自転車を安全で快適にご使用いただくために！

# ルラビーデラックスリヤチャイルドシート取扱説明書

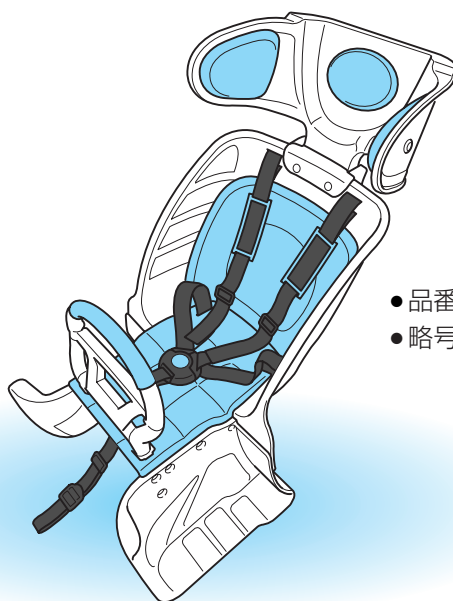
このたびは当社の製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

## ⚠ 警告

- この商品は適正な取り付けのため、自転車販売店で取り付けてください。正しく取り付けられていないままご利用された場合、ケガ、事故のおそれがあります。
- お客様の安全のために、ご使用になる前に必ずこの説明書をお読みください。読まれたあとは大切に保管してください。
- 適合自転車、幼児の適用範囲の記載及び取扱説明書の記載を守らない場合は、SG規格（製品規格）の補償対象外となる場合があります。
- 6歳以上のお子様を同乗させることは道路交通法違反となり、違反の場合はSGマーク制度の賠償外となる場合があります。  
※SGマーク制度は、チャイルドシートの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

## ⚠ 注意

- このチャイルドシートは「幼児2人同乗基準適合車」に対応しており、幼児2人同乗の認定を受け、当該チャイルドシートを指定している自転車に装着した場合のみ、幼児2人同乗してご利用いただくことが可能です。  
これ以外の車種に装着の場合は、幼児1名同乗でのご利用となります。詳しくは、ご使用になる自転車の取扱説明書をご確認ください。



- 品番：A551520
- 略号：RCS-LD3

## — 目 次 —

●警告表示について.....	2	4. 走行時は.....	6
●はじめに.....	2	5. 保管のしかた.....	7
1. 乗車できるお子様とリヤキャリアの制限.....	2	●各部の名称.....	7
2. チャイルドシートを装着する自転車について.....	3	●チャイルドシートの操作方法.....	8
3. 取り付け時の注意.....	4	1. シートベルトの調整.....	8
●ご使用時の注意.....	4	2. ヘッドガードの使い方.....	10
1. お子様をチャイルドシートに乗せる前は.....	4	3. フットレスト（足乗せ）の高さ変更方法.....	11
2. お子様をチャイルドシートへ乗せ降ろしするときには.....	5	4. 背もたれ角度・座面調整方法.....	13
3. お子様をチャイルドシートに乗せたら.....	6	5. 簡易バスケットとして使用する場合.....	14
		6. 安全ベルトについて.....	16

## 警告表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、自転車が壊れるなどのおそれがあります。

### 表示の意味



**警告**

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。



**禁止**

この表示の欄は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。



**強制**

この表示の欄は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。

## はじめに

本商品をご利用にあたっては、以下に示すリヤキャリヤとお子様の制限をご確認の上、ご利用ください。



**警告**

- 推奨されていないリヤキャリヤへの組み付けや、制限体重を超えたお子様を乗せて、ご利用された場合、部品の早期破損折損が生じ、ケガ、事故になるおそれがあります。
- チャイルドシート取り付けの前にリヤキャリヤを点検してください。サビがひどい状態やグラつきがひどい場合は、リヤキャリヤを交換して取り付けてください。

### 1. 乗車できるお子様とリヤキャリヤの制限

- 自転車に装着されているリヤキャリヤの仕様（強度区分）により異なります。  
（JIS D9453:2010「自転車—リヤキャリア及びスタンド」に準拠）

リヤキャリヤの仕様 (クラス表示)	自転車の荷台 最大積載質量	お子様の体重 (着衣を含む)	適正年齢、身長
MAX27kg表示 (クラス27)	27kg	8kg以上22kg以下	年齢：1歳以上6歳未満 身長：目安身長 70cm以上～115cm以下
MAX25kg表示 (クラス25)	25kg	8kg以上20kg以下	
MAX18kg以下表示 (クラス18以下)	各クラスの荷重	チャイルドシートはご利用できません (キャリヤの強度が足りないため)	

※お子様の適正年齢について：シートベルトは装着されていますが、体格には個人差がありますので、グリップを握れる2才以上を推奨します。

※本チャイルドシートの重量は5kgとしてお子様の体重を表示しています。(キャリヤへの取付部品含む)

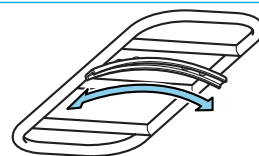
※取り付けには、必ず、幅150mm以上170mm以下のリヤキャリヤが必要となります。

※運搬用の実用車などに装着されている、特別な形状のリヤキャリヤには取り付けできません。

※ブリヂストンサイクルが販売している、アンジェリーノミニ、アンジェリーノRのリヤキャリヤには取り付けできません。

### ⚠ 警告

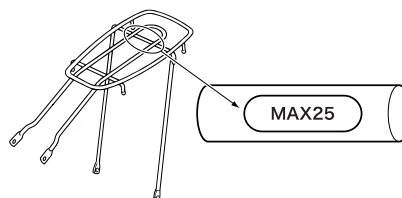
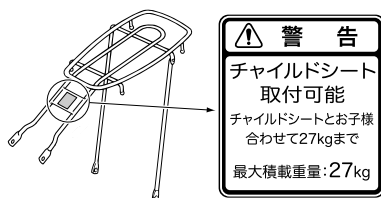
- 「はしご形」のパイプキャリヤ等、外枠のみでチャイルドシート取付金具を組み付ける場合、取付金具が反って変形してしまう場合があります。その場合、ご使用中の振動等で、取り付けが緩みやすく、大変危険ですので、チャイルドシートは取り付けないでください。



※一般のシティ車に標準装備されているリヤキャリヤはMAX18kg表示が多いので、リヤキャリヤの強度区分をご確認し、P.2表の使用範囲を守ってください。

※リヤキャリヤの強度（最大積載質量）が十分でない場合は、自転車販売店で十分な強度のあるリヤキャリヤ（クラス25以上）に交換してください。

※リヤキャリヤのクラス表示は、リヤキャリヤ本体に刻印またはプレートに表記されています。クラスの表示位置（例）

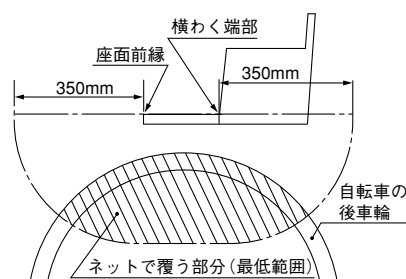


※リヤキャリヤに表示されている最大積載質量は必ず守ってください。

## 2. チャイルドシートを装着する自転車について

取り付け可能な自転車については下記のとおりです。

- ①自転車の表示、取扱説明書を確認して、その自転車がチャイルドシートの取り付けが可能かどうか確認してください。自転車にチャイルドシートの取り付け可否の表示のない自転車は、SG規格適合自転車対象外になるため、取り付けできません。自転車の取扱説明書で判断できない場合は、自転車販売店にご相談ください。
- ②必ずロック付きの両立スタンドの自転車をご使用ください。1本スタンドやロックのないスタンドの自転車には使用しないでください。
- ③足の巻き込み防止のために必ずドレスガードまたは足巻き込み防止ネット等を取り付けてください。ドレスガード等の無い自転車にはドレスガード等を必ず取り付けてください。右図の範囲（幼児の足の可達範囲）をカバーするドレスガードまたは足巻き込み防止ネット等を取り付けた自転車を推奨します。
- ④一般のシティ車に取り付けできるチャイルドシートは自転車1台につき1つです。
- ⑤3人乗り（幼児2人同乗）自転車に取り付ける際は販売店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書を確認し、取り付けの自転車がこのチャイルドシートを幼児2人同乗基準に指定している場合には取り付けることができます。
- ⑥小さい自転車ほど取り付け位置に制限ができたり、使用した時に安定性が低下しますので、ご注意ください。
- ⑦ブリヂストンサイクルが販売する自転車で、チャイルドシートの取り付け可能なものは、24インチ以上28インチ以下のサイズのシティ車（婦人用軽快車）となります。また、ブリヂストンサイクルが販売する車種で、チャイルドシートが装着可能な車種には、フレームタイの立パイプに、下記マーク（タフマーク、コーションマーク）が貼付されています。



タフマーク

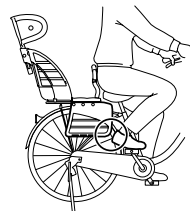
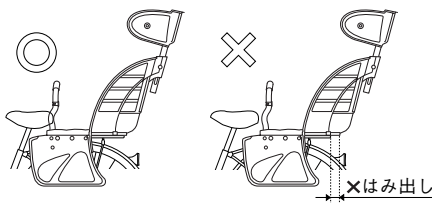


コーションマーク

### 3. 取り付け時の注意

#### ⚠ 注意

- 安全にご使用いただくために、お買い上げいただいた販売店での取り付けをお願いします。
- 一般のシティ車に取り付けるチャイルドシートは1つに限ります。
- 幼児2人同乗用自転車に取り付けるチャイルドシートは、前後各1つに限ります。
- 自転車のリアリフレックスリフレクタの後方からの視認の妨げにならないように取り付けてください。
- チャイルドシートをリヤキャリアの後方に取り付けますと、破損の危険や重心が不安定になる恐れがありますので、必ずサドルに近づけて(可能な限り)取り付けてください。
- ペダルをこいだ時にカカトなどが触れない位置に取り付けしてください。
- 走行中に自転車錠が作動すると危険ですので、自転車錠にお子様の手足が届かないように注意してください。
- 取り付け時は、ネジやナットを確実に締めてください。
- ドレスガードやロック付きの両立スタンドを取り付けてお使いください。



## ご使用時の注意

#### ⚠ 注意

- 一般に、自転車にチャイルドシートを取り付けてお子様を同乗する場合、取り付けでない場合と比較して自転車のハンドル操作性、走行安定性、制動性能が低下します。このため、事前に安全な場所で、十分に走行練習してからご利用ください。

### 1. お子様をチャイルドシートに乗せる前は

#### ⚠ 警告

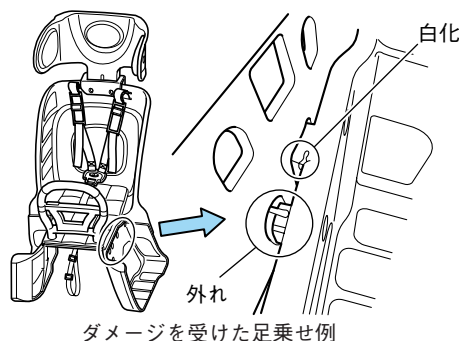
- 本体、フットレスト、グリップ、ヘッドガード、リヤキャリアの取り付けネジ等が、しっかり締まっているか、日常点検を行ってください。
- 使用するときはチャイルドシート及びリヤキャリアが確実に取り付けられていることを確認し、破損・変形等したまま使用しないでください。また、シートベルトが傷んでいないか確認してください。少しでも異常を感じた場合は使用を中止し、販売店にご相談ください。
- お子様にはヘルメットを着用させて使用してください。着用しない場合、事故時に重傷あるいは死亡につながるおそれがあります。着用した場合、軽傷ですむことが報告されています。また、運転者もヘルメットを着用するようおすすめします。
- お子様には必ず靴を履かせてください。
- 夏の炎天下では、直射日光が当たるシートクッションの温度は高温となります。自転車を炎天下に放置した場合は、お子様をチャイルドシートに乗せる際、やけどに十分注意してください。
- 一般のシティ車に同乗できるお子様は1人です。また、3人乗り(幼児2人同乗)の自転車に同乗できるお子様は2人までです。それぞれの自転車で使用できるお子様の年齢、体重、身長範囲を守ってください。
- スタンドが安定した状態で立っているか確認をしてください。またスタンドのロックがかかっていることも確認してください。

**警告**

- この商品はSGマーク認定基準を満たしていますが、大きな衝撃が加わると破損・変形・クラック等が発生することがあります。一度でも大きな衝撃を受けた場合は使用をやめ、十分点検してください。(また、販売店に点検を依頼してください。)

- 特に、足乗せ部分は、このような衝撃に対して、ダメージを受けやすい部位となりますので、十分点検をおこなってください。

例：ダメージを受けた足乗せは、嵌合部が外れたり、白化や亀裂が生じます。



ダメージを受けた足乗せ例

**注意**

- 荷物ガードが確実に収納されているか確認してください。荷物ガードが開いている状態でお子様を乗車させないでください。

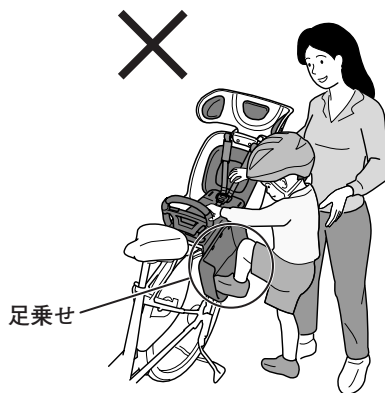
## 2. お子様をチャイルドシートへ乗せ降ろしするときは

**警告**

- お子様は、荷物よりも後に乗せ、最初に降ろしてください。
- お子様を乗せるときには必ず正しい姿勢になっている事を確認し、特に足が車輪に巻き込まれることのないように注意してください。
- お子様が1人でチャイルドシートに乗り降りしないように注意してください。自転車が倒れるおそれがあります。特にフットレスト（足乗せ）に体重をかけて乗り降りすると、フットレストに大きな負担がかかり、こわれやすくなります。



お子様を抱いて乗せ降ろしてください。



足乗せステップ（踏み台）としてご使用しないでください。

- 自転車を停車（駐輪）する場所はスタンドを立てたときに安定する場所を選んでください。またスタンドのロックも必ず掛けてください。  
自転車が転れ、お子様が重篤なケガを被る場合があります。
- ハンドルロック機構のある自転車は、ハンドルロックをした後にスタンドを立ててください。
- お子様をチャイルドシートから降ろした後は、シートベルトをバックルに嵌めてください。  
外した状態で走行すると、ベルトが車輪に絡まり車輪が損傷したり、転倒するおそれがあります。

### 3. お子様をチャイルドシートに乗せたら

#### ⚠ 警告

- 必ず肩ベルト・股ベルトを使用してください。
- お子様の首に肩ベルトがかからないように注意してください。
- 肩ベルト・股ベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- ヘッドガードは必ず適正な高さで使用してください。
- お子様がグリップをしっかりと握るようにしてください。
- お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないでください。自転車が倒れてお子様がケガをするおそれがあります。
- お子様をチャイルドシートに着座させたととき、ヘッドガード上端が頭部の中心（耳の上）より高くなるように調整してください。



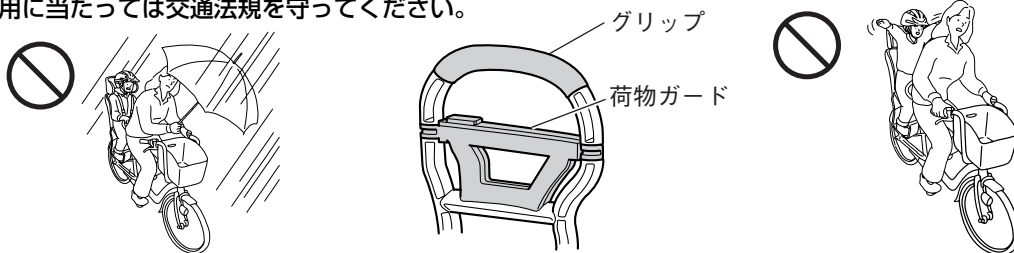
#### ⚠ 注意

- リクライニング板およびフットレストは必ずお子様の体形にあった位置に調整してください。

### 4. 走行時は

#### ⚠ 警告

- 傘を差しながらなどの片手運転など、危険な行為は絶対にしないでください。
- お子様が乗車中はグリップを握らせてください。荷物ガードを握らせると、スキマに手・指をはさむおそれがあります。
- お子様が眠らないように注意してください。
- お子様が走行中に自転車錠を操作しないように十分注意してください。
- 段差のある場所ではお子様を乗せたまま走行しないでください。
- 走行中にお子様がチャイルドシートの中で立ち上がったたり暴れたりしないよう、注意してください。
- 使用に当たっては交通法規を守ってください。



## 5. 保管のしかた

### ⚠ 警告

- シートベルトは消耗品です。標準装備されているチャイルドシートを安全にご使用いただくために、シートベルトは2年毎の交換をお勧めします。  
なお、シートベルトの交換につきましては、ご購入いただいた販売店へお問い合わせください。

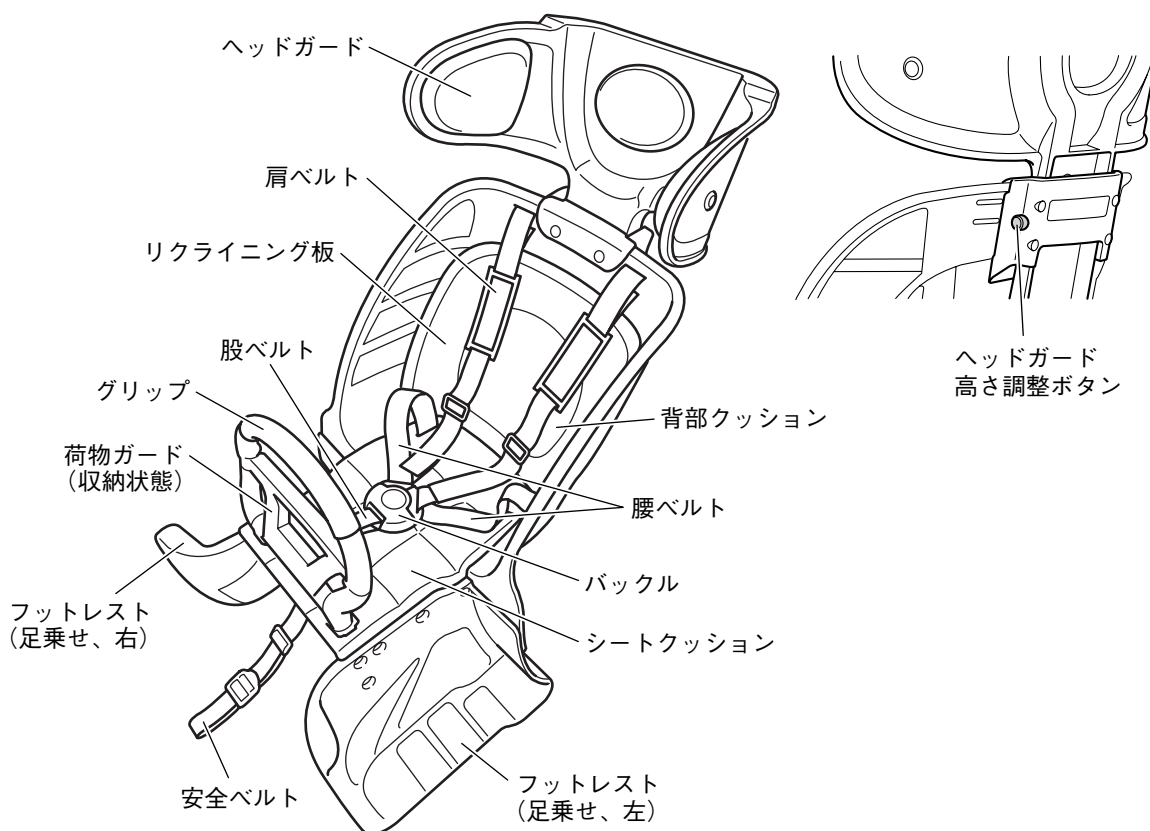
### ⚠ 注意

- 駐輪時等で、自転車を持ち上げる必要があるときに、フットレストやグリップをもって持ち上げない。想定外の負荷により、フットレストやグリップが、破損する場合があります。
- チャイルドシートは直射日光をさけて駐輪、保管し、雨ざらしにしないでください。早期劣化の原因となります。



- シートクッションのお手入れ方法  
シートクッションや背部クッションが汚れた場合は、水を含ませて絞ったタオルなどで拭きとってください。

## 各部の名称



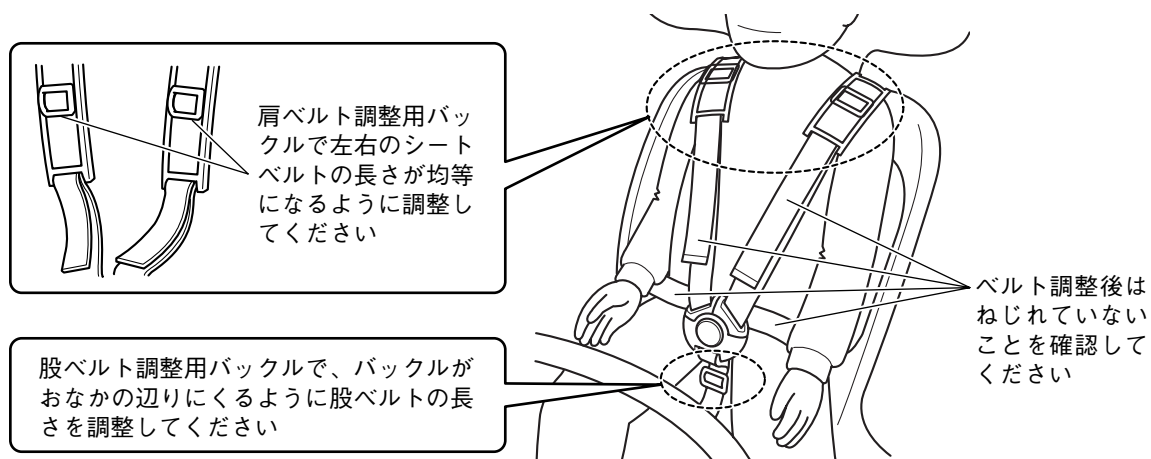
## チャイルドシートの操作方法

### 1. シートベルトの調整

- シートベルトはお子様の体格や服装に合せて長さを調整してください。
- お子様を乗せた時には必ずシートベルトを装着してください。
- お子様を乗せていない時でもシートベルトのバックルをはめるようにしてください。  
(バタツキ防止のため)
- 調整用バックルでシートベルトの長さを調整します。
- 調整用バックルは肩ベルト左右、股ベルトの3ヶ所にあります。

バックルがおなかの辺りになるように股ベルトの長さを調整した後、肩ベルトの長さを調整してください。

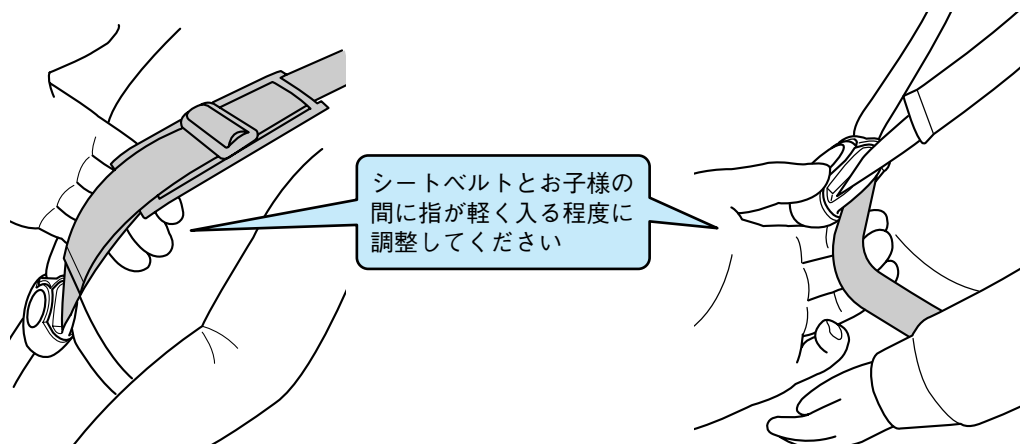
股ベルトの長さを調整する際はバックルがお子様の首にあたらないよう注意してください。



#### ⚠ シートベルト調整時のポイント

肩ベルト

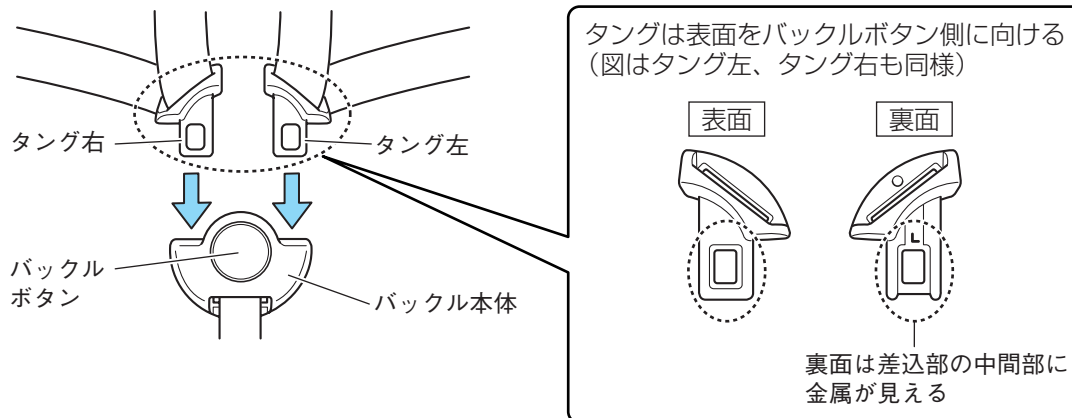
腰ベルト



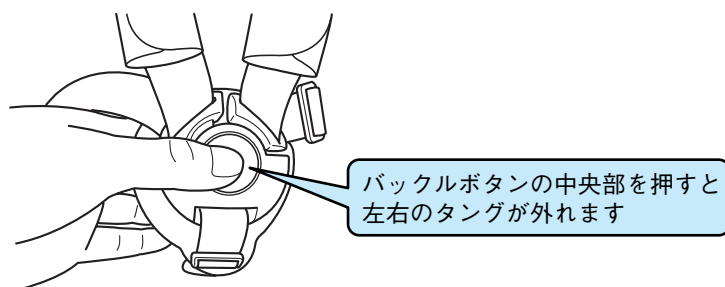
- タングは左右別々に固定し、左右同時に取り外します。

#### 固定する時

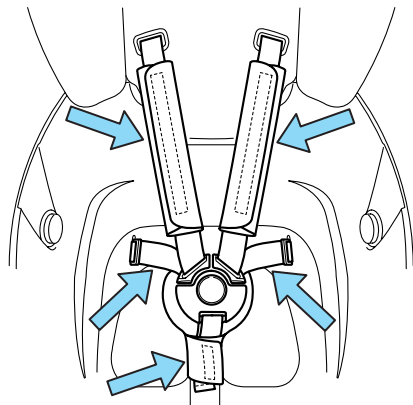
タング表面をバックルボタン側に向けて、左側のタングはバックル本体の左側へ、右側のタングはバックル本体の右側へそれぞれカチッと音が出るまで確実に差し込みます。



#### 外す時



- ベルト長さ調整時及び使用時は肩、腰、股ベルトがねじれていないことを確認してください。



## 2. ヘッドガードの使い方

### ⚠ 警告

- ヘッドガードは外した状態で使用しないでください。

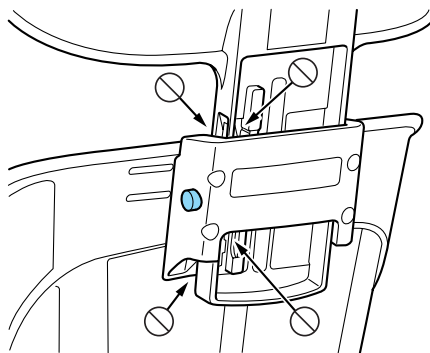
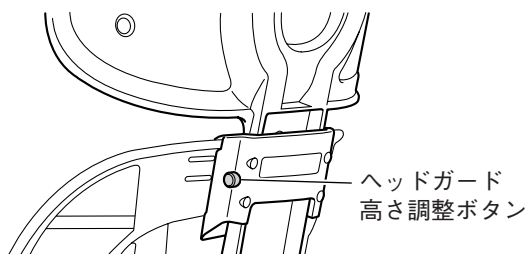
- ヘッドガードはお子様の体格に合わせて高さを調整してください（可動範囲は約8cm）。




ヘッドガード上端をお子様の頭部中心（耳の上）より高くするように調整する

- ヘッドガードを上下することができます。

- ①ヘッドガードの高さを高くするときは、側面のヘッドガード高さ調整ボタンを押しながらヘッドガードを引き上げます。
- ②ヘッドガードの高さを低くするときは、高さ調整ボタンを押しながらヘッドガードを押し下げます。



### ⚠ 注意

- で指した隙間に指をはさまないようにご注意ください。
- お子様を乗せている時は、お子様の手などを隙間にはさまないようにご注意ください。

### 3. フットレスト(足乗せ)の高さ変更方法

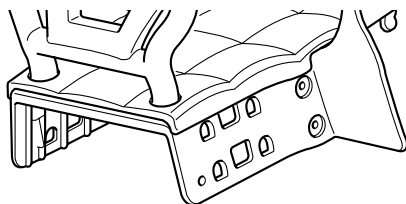


**警告**

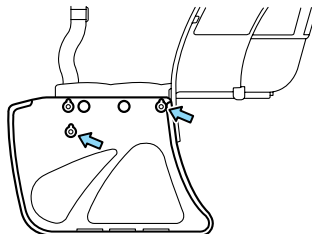
- 高さ変更は販売店にご依頼ください。

- フットレストはお子様の体格に合わせて高さを変更することができます。(上下2段階)

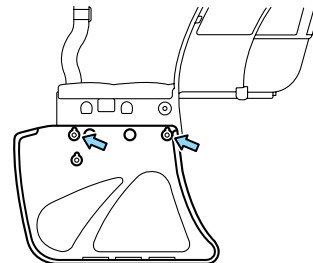
本体にはフットレストを上下2段に高さ変更できるようになっています



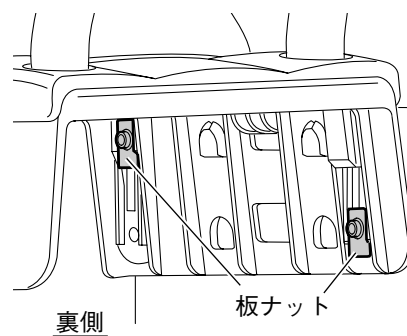
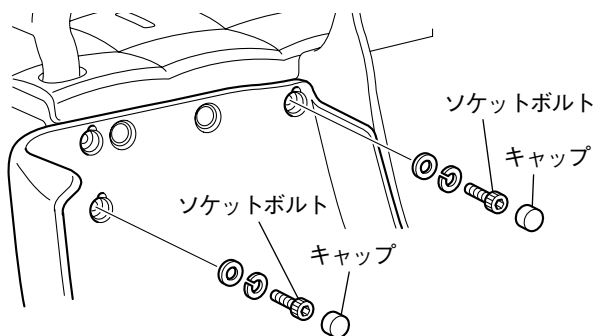
フットレストを上段位置に組み付けた場合



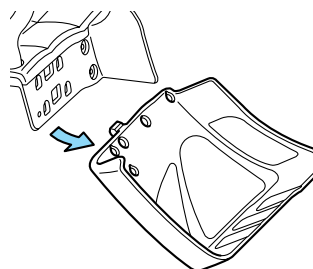
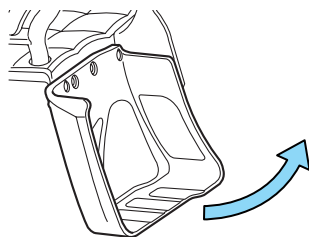
フットレストを下段位置に組み付けた場合



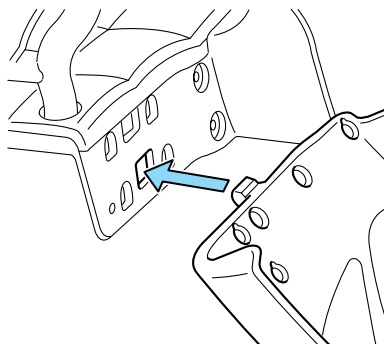
- ① 高さ変更の際はマイナスドライバー等でキャップを外し、ソケットボルトをアーレンキー（六角レンチ）で外してください。  
ボルトを外す際は裏側の板ナットが落下しますので、紛失しないように注意してください。



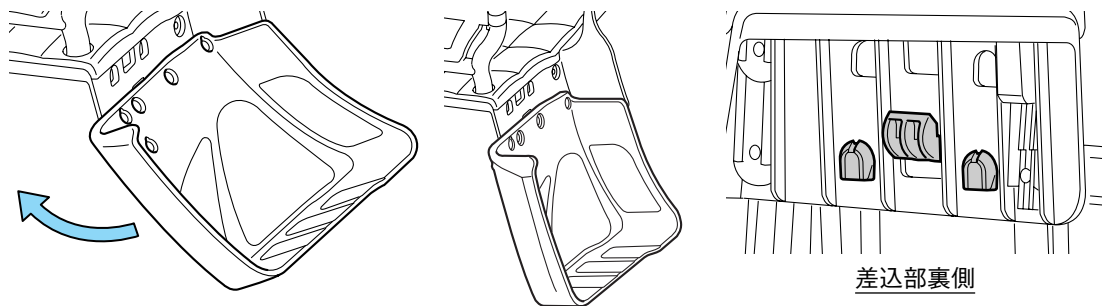
- ② フットレストの下側を持って外側に回転させながらフットレストを本体から外します。



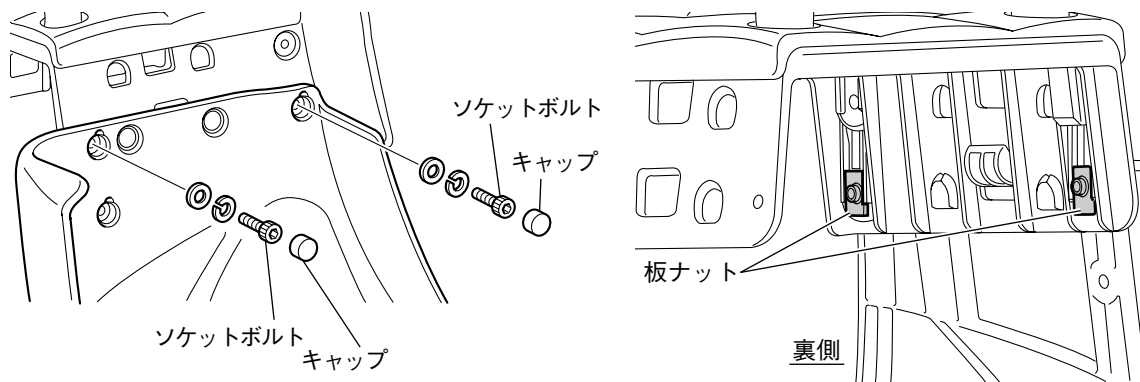
- ③フットレストを図のように傾けながら、フットレスト上部中央のフックを本体側面にある組み付けしたい高さの取付用の穴に差し込みます。



- ④次にフットレストをフックを中心として下向きに回転させながら、固定用の差込部（2箇所）を本体側面にある差込穴に嵌め込んでください。（差し込み部がしっかり嵌まっていることを確認してください。）



- ⑤①で取り外したソケットボルト・バネ座金・平座金を使用してフットレストを本体に固定します。板ナットは裏側のリブに合わせてソケットボルトを締め込みます。〔締付トルク：3～4N・m（30～40kgf・cm）〕さらに、ネジ頭側にはキャップを嵌め込んでください。



## 4. 背もたれ角度・座面調整方法

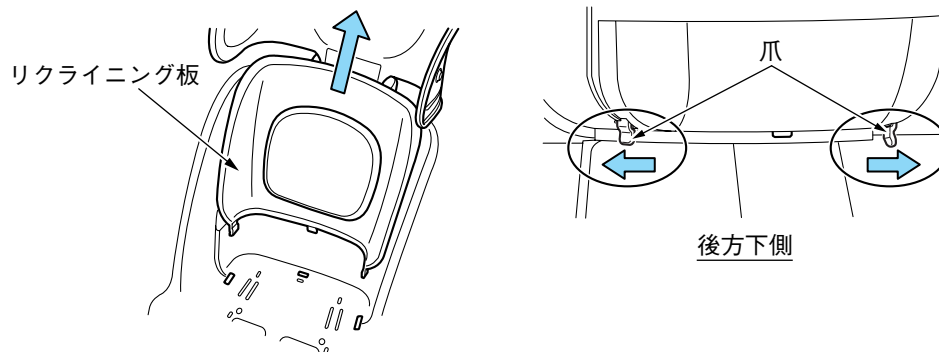
- お子様の体格にあわせて、リクライニング板を外すことにより、背もたれの角度を立たせて座面を広くすることが可能です。

### ⚠ 警告

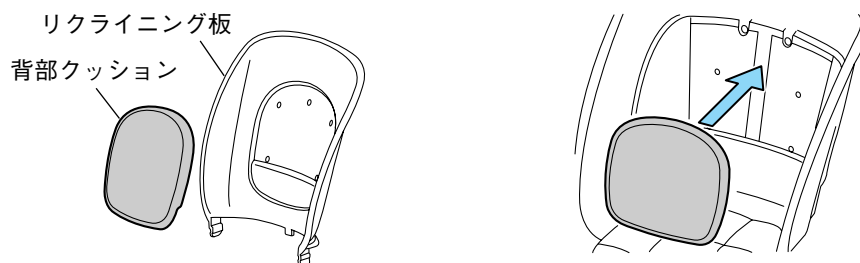
- 2歳未満のお子様を使用する場合はリクライニング板を外さないでください。

- 背もたれ角度を立たせ、座面を広くしたい場合はリクライニング板を外します。

- ① リクライニング板の本体下側2ヶ所に引っかかっている爪を外側に広げながら上方に押し上げて、リクライニング板を本体から外します。



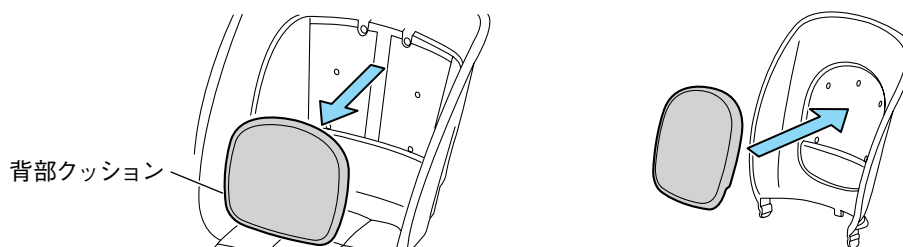
- ② リクライニング板に装着している背部クッションを剥がし、本体背当て部のクッション取り付け穴に背部クッション裏側の突起を挿し込み、背部クッションを固定します。



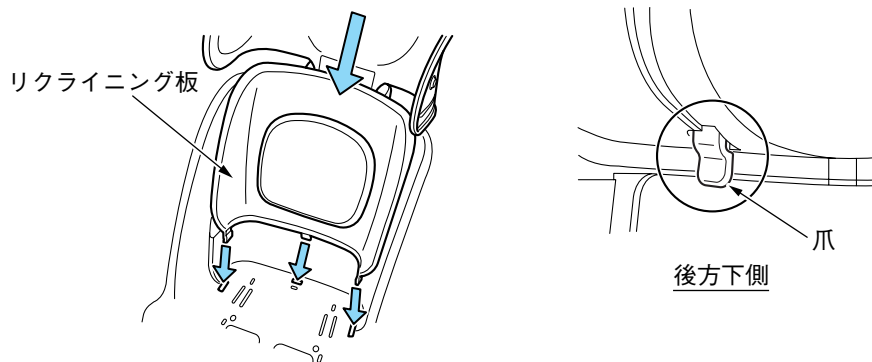
- ③ 取り外したリクライニング板は使用しませんので、直射日光の当たらない場所に保管してください。

- 背もたれ角度を寝かせ、座面を狭くしたい場合はリクライニング板を取り付けます。

- ① 本体背あて部に装着している背部クッションを剥がし、背部クッション裏側の突起をリクライニング板のクッション取り付け穴に挿し込み背部クッションをリクライニング板に固定します。



- ②リクライニング板の下側爪3箇所を本体の穴にあわせ、リクライニング板上部を本体に押し付けながら、リクライニング板を本体に差し込みます。装着後、リクライニング板がガタつかず、確実に固定されているか確認してください。

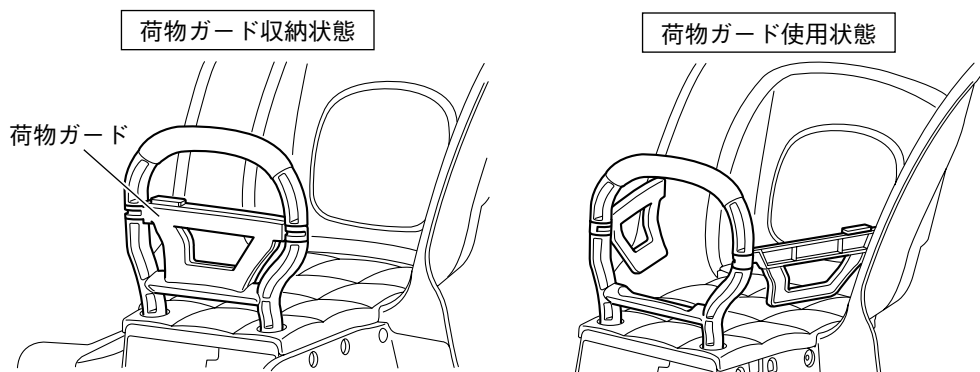


## 5. 簡易バスケットとして使用する場合

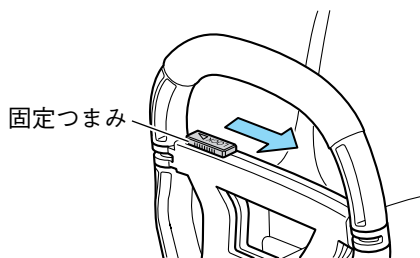
- 本チャイルドシートはグリップの荷物ガードを使用することで簡易的に荷物をのせることが可能です。以下方法で使用してください。

### ⚠ 注意

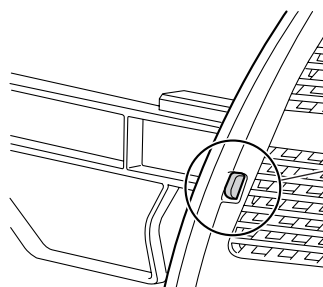
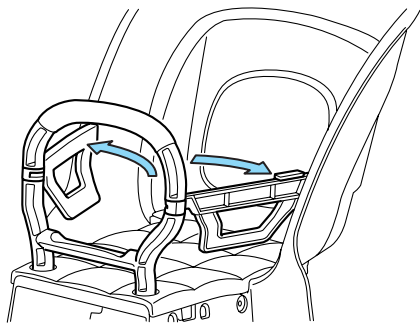
- 簡易的な機能ですので、荷物の落下にご注意ください。



- 荷物ガードを使用するとき
- ①グリップの下にある荷物ガード固定つまみを LOCKと反対方向にスライドさせます。



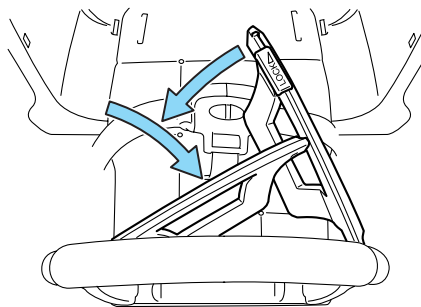
②荷物ガードをそれぞれ左右に開いて、荷物ガード先端を本体の荷物ガード固定穴に嵌め込みます。



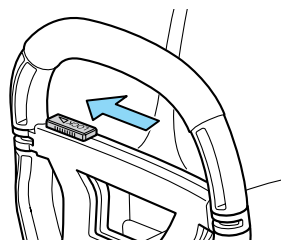
固定穴にしっかり  
嵌め込んでください

●荷物ガードを収納するとき

①荷物ガードを本体の荷物ガード固定穴から外し、荷物ガードを自転車右側から先にたたみます。

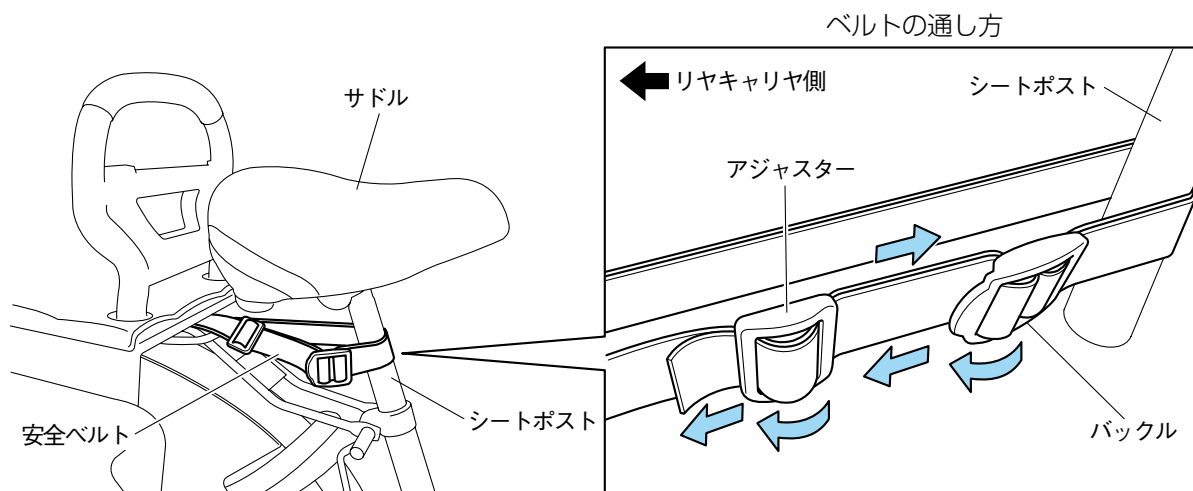


②荷物ガードを左右グリップに収納したら、荷物ガード固定つまみをLOCK方向にスライドさせ荷物ガードをロックします。  
左右荷物ガードがしっかり収納されているか確認してください。



## 6. 安全ベルトについて

- 安全ベルトは、万一リヤキャリアが破損した際のチャイルドシートの落下を防止します。安全のために、必ず自転車のシートポストに巻き付けて使用してください。



### ⚠ 注意

- 安全ベルトはぶら下げたままにしないでください。
- 安全ベルトはシートポストに巻き付けて使用し、余った部分はタイヤなどに巻き込まれないようにアジャスターで調整してください。
- 組み付けは販売店で行ってください。

## ブリヂストンサイクル株式会社

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3丁目1-1

### お客様相談室

受付時間：9:00～12:00／13:00～17:00  
(土・日・祝日及び弊社指定休日は休み)

フリーダイヤル：☎ 0120-72-1911

(国際電話・インターネット電話  
でのご利用はできません)

IA01-101  
4, B